

いばらき

市議会だより

No.257

令和6年(2024年)8月



おにクル最上階テラスから北側を望む

目次

市長の施政方針に各会派が代表質問	2
一般会計補正予算質疑	8
市議会のうごき	9
全国市議会議長会永年表彰・感謝状	12
5月臨時会議決結果	13
選挙管理委員会委員・補充員が 決まりました	13
6月定例会議決結果	14
可決された意見書	15
請願	15

6月定例会

令和6年第4回定例会を6月7日から28日までの
22日間の会期で開催しました。

この定例会では、市長から施政方針の説明が行われ、
これに対する各会派の代表質問を行うとともに、「令
和6年度大阪府茨木市一般会計補正予算」などの議案、
意見書、請願等を審議しました。

編集 / 議会広報委員会 発行 / 茨木市議会
電話 (072) 620-1670 FAX (072) 623-7591
[https://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei_info/gikai/
index.html](https://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei_info/gikai/index.html)



スマートフォン等で読み取
ると市議会ホームページへ
アクセスできます。

市長の施政方針に 各会派が代表質問



6月7日に市長の施政方針の説明が行われ、その際、市長の隣で手話通訳が実施されました。

6月11日、12日に行われた施政方針に対する各会派の代表質問の主な内容は次のとおりです。



左記二次元コードから録画配信をご覧いただけます。

公明党



大村 卓司（質問者）

岡本 竜郎 青木 順子

松本 泰典 河本 光宏

坂口 康博

北部の魅力発信にスポーツの活用を

問 安威川ダム周辺で景観や地形を生かしたさまざまなスポーツを行うことで、北部地域の魅力発信につながれると考えるが、市の見解は。また、本市北部地域には、ダムパークいばきただけでなく、潜在的な観光資源が存在すると考えている。ダムパークいばきたは北部地域活性化のハブ拠点とのことだが、どのように機能させるのか。

答 ダム周辺は、景観や地形を生かして、マラソンや水の上スポーツなどさまざまな活動を行うポテンシャルがある。周辺整備とあわせ、北部地域の魅力増進につながるよう検討していく。また、ダムパークいばきたの集客力を生かし、北部地域の自然・歴史・文化等の情報発信を行いつつ、エリ

アマネジメント（※1）の支援に取り組むことで、既存の観光資源への訪問につなげる。



4月23日に一部オープンしたダムパークいばきた

市内の移動手段確保について

問 運転士不足や利用者数の減少により、公共交通の維持、住民の移動手段の確保が全国的な課題となっている。移動手段の確保は、生活の基盤であるインフラ整備であると考えるが、市内公共交通について、市の認識は。また、山間部を含めた今後の市民の移動手段の確保についてはどうか。

答 市内公共交通は、日々の生活を支える都市機能の一つと

（※1）エリアマネジメント：ある特定の地域で、市民や事業者が主体となってまちづくりを行い、その活動による収益を地域で循環させ、活性化につなげる取組みのこと。

して大切な役割を果たすものであると認識している。山間部を含めた市民の移動手段の確保については、公共交通事業者の運営に委ねるだけでなく、補完する移動手段の検討など、市としても積極的に取り組んでいく必要があると考えている。



保育士等の負担軽減への支援について

問 こどもが安心して過ごせる環境を整備する、私立保育所や民間児童保育等に対し、着替え用間仕切りやカメラ等の購入経費を補助することであるが、施設の整備に加えて、保育士等に過度な負担がかからないような取組みも必要であると考えてるが、市の考えは。

答 保育にかかる周辺業務を行う保育支援者等の配置に伴う支援や、ICT導入の経費補助などを既に実施しているが、今後も継続的な支援が必要と考えている。

誘致病院の事業者候補者について

問 誘致病院の事業者候補者である大阪医科薬科大学について、その特徴的な要素を、市はどのように捉えているか。また、どのように生かしていくのか。

答 大阪医科薬科大学は、医療従事者の育成や市内医療機関への医師の派遣のほか、三島二次医療圏の三次救急の拠点となっていることなど、地域医療において重要な役割を担っている。このような医療資源を有する同大学との連携を進めることができれば、更なる地域医療の充実につながるものと考えている。

終活相談の体制は

問 こどもの有無に関わらず、「ひとり」になつてしまつ方が増えていると指摘されている。他市では、墓じまいや相続等について相談できる窓口を設置する事例もあり、本市においても、終活をサポートしてはと考えるが、終

活支援について、どのような課題を認識しているのか。また、終活の相談体制について、どのように考えているか。

答 終活支援に必要な事項が多岐にわたるため、支援の範囲が課題と考えている。また、終活相談体制のあり方については、市民のニーズや先進市の事例等を踏まえ、研究していく。



中核市への移行の検討状況は

問 以前から本会派が要望している中核市への移行について、検討の進捗状況はどのようになっているのか。

答 中核市へ移行した他市の保健所へのヒアリング等も実施し、移行にかかる論点整理は一定進んでいる。今後は、議会をはじめ

めとする、関係の皆さまとの対話と議論を重ねながら検討を深めていく。

いばらぎ未来の会



西本 睦子 (質問者)
稲葉 通宣 安孫子浩子

丘陵部における公共交通の維持について

問 働き方改革関連法の一環として公共交通の運転業務の労働時間が見直され、2024年問題としてクローズアップされている。本市においても、山間部のみならず、丘陵部においてもバス路線の廃止や減便、値上げのほか、高齢化による運転免許証返納の加速化の影響により、移動利便性の維持が困難になってきていると考える。丘陵部における移動支援について、市の考えは。

答 丘陵部においては、土地の高差があるため、バス停までの移動が困難な方もおられることから、地域の支え合いや福祉事業とも連携した方策の検討が必要であると考えている。

中学校給食の食の安全性は

問 中学校給食について、令和7年1月からの全員喫食の開始と、それにあわせた給食費無償化を大いに評価している。

給食は、こどもたちが毎日食べるものであることから、その安全性が重要だと考えるが、使用する食材の減農薬の取組みや有機野菜の使用について、市はどのように考えているのか。

答 中学校給食において、減農薬や有機野菜を使用する取組みは重要であると認識しているが、量の確保や価格の課題もあることから、小学校給食と同様に、可能な範囲で取り組んでいく。

地域共生社会の実現に向けた具体策は

問 地域共生社会の実現に向けて、「重層的支援体制整備事業」(※1)を活用した包括的な支援体制のもと、地区保健福祉センターを中心に、さまざまな関係機関と連携を深める」とのことだが、具体的にどのような取り組みを予定なのか。

答 住民が抱える課題の解決に向け、多様な主体が関わることで互いに役割と生きがいを持って暮らせるよう、地区保健福祉センターを中心に、地域に既存する社会資源も活用しながら、地域の皆さまと連携を進めていく。

日本共産党



朝田 充 (質問者)
大額さやか 畑中 剛

地方自治法改正に対する市の見解は

問 国会で審議中の地方自治法改正法案は、非常事態で「国民の生命等の保護のために特に必要な場合」に、国が自治体に対して指示できる権限を新たに与えるものである。これは、「非常事態」の解釈次第で恣意的に地方自治を否定することを許すものであり、地方自治を担う者として、考えを示す必要があると考えるが、市の見解は。

答 国が補完的指示を実施する場合でも、自治体の自主性・自立性に配慮して行われるべきものであると考えている。

基本的人権を尊重した市民対応を

立性に配慮して行われるべきものであると考えている。

問 税や国民健康保険料等の滞納にかかる対応について、悪質滞納者には厳格な措置が必要であるが、「払いたくても払えない」という滞納者には、格差と貧困の問題と捉え、福祉的な対応が必要ではないか。「払え、払え」一辺倒の対応ではなく、法に基づいた丁寧な説明と、制度の積極的な周知、市民一人一人の理解度に応じた接遇など、憲法の生存権を尊重した対応が必要だと考えるがどうか。

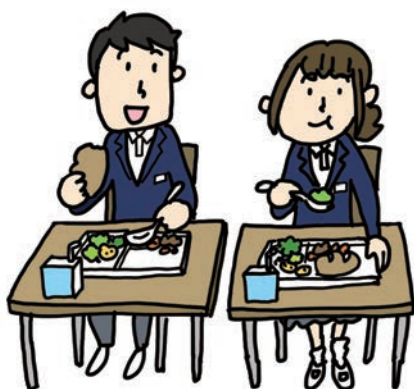
答 滞納者等への対応については、引き続き、法令等に基づき、適切な対応に努めていく。

子育て支援の充実について

問 コロナ禍および物価高騰の対策として実施していた小学校給食の無償化が今年度で打ち切りとなった。物価高騰の影響は引き続き深刻であり、継続すべきと考えるがどうか。また、阪急駅前の誘致病院について、開院が延期さ

れるのならば、小児初期救急の受入れ体制の整備のため、保健医療センター附属診療所における小児科夜間休日診療を復活させるべきではないか。

答 小学校給食費については、国が示す地方創生臨時交付金の活用策に基づき無償としたもので、期限も国の予算や方向性に合わせた対応としている。また、附属診療所の小児科夜間休日診療については、全国的な小児科医不足の中、持続的な医療体制確保のため、高槻島本夜間休日応急診療所における広域対応とした経緯から、復活する考えはない。なお、誘致病院は二次救急を担うことを基本としている。



(※1) 重層的支援体制整備事業：社会情勢の変化などにより、これまでの制度では必要な支援が届かない事案に対して、包括的な支援体制を整備する事業のこと。

自由民主党・絆



永田 真樹（質問者）
福丸 孝之 塚 理
西野 貴治 上田 光夫
下野 巖

駅前再整備における鉄道事業者との連携は

問

駅前整備においては、駅と駅前広場の空間を一体的に捉え、周辺市街地との関係も踏まえ、必要な機能を配置することが期待される。事業者と地方公共団体が個別に取り組むのではなく、関係者が連携し、管理・運営も含め、総合的に取り組むことが重要と考えるが、本市のＪＲ・阪急両駅前周辺再整備では、関係者間におけるビジョンの共有はできているのか。特に、両鉄道事業者には、駅ビルや駅周辺開発に協力いただくため、市から積極的に働きかけるべきと考えるがどうか。

答

駅前周辺整備基本計画協議会において、各関係者とは検討段階から再整備の方向性について共有を図っている。引き続き協議調整を行うとともに、事業の具体化にあわせて連携を図っていく。また、両鉄道事業者は、駅前再整備のまちづ

くりにとって重要な関係者と捉えており、事業の進捗にあわせて積極的に協議調整を行っていく。



JR 茨木駅西口周辺（西駅前町）

市郊外地域の活性化について

問

南目垣・東野々宮土地区画整理事業「イコフルいばらき」においては、民間事業者による運営となった後も、市が連携・調整しながら地域の賑わいづくりと防災機能の向上に取り組むとのことだが、その進捗状況は。また、中心市街地から外れた郊外地域の活性化は、都市づくりにおいてどのような位置づけと考えているか。

答

「イコフルいばらき」の各施設の開業時期を踏まえ、イ

ベントや社会見学などの地域共生の取組みや、災害時援助協定の締結等について、各進出事業者等と調整を進めている。郊外の都市づくりでは、居住地域においては暮らしの質の向上や維持・充実が重要であり、また、縁辺部の市街化調整区域においては、無秩序な市街地の拡大を抑制する考えのもと、地域における丁寧な合意形成と、農地や既存集落などの周辺環境との調和が重要と考えている。

病児・病後児保育サービスの充実を

問

こどもの病気やけがにもかかわらず、保護者の仕事の都合により家庭での保育が難しい場合がある。そのような際に利用できるサービスのひとつとして居宅訪問型病児・病後児保育サービスがあり、利用料の一部助成を行っている自治体もある。本市においても、このようなサービスの充実について検討する必要があると思うが、市の考えは。

答

本市では、保護者が預ける従来型の病児・病後児保育事業に加え、生後６か月の乳児から小学校３年生までの児童を対象に、訪問型の病児・病後児保育サービス利用料の一部について補助を実

施しており、引き続き事業の周知および利便性の向上に努めていく。



会議録を閲覧できます

市議会では、本会議の会議録を定例会、臨時会ごとに作成しています。市役所南館１階の情報ルームや各市立図書館、ホームページで自由に閲覧できますので、ご利用ください。

なお、６月定例会の会議録は、８月下旬に閲覧が可能となる予定です。



スマートフォン等で読み取ることができます。

<https://www.kensakusystem.jp/ibaraki-s/index.html>

部活動の今後の方向性は

問 部活動は、こどもたちが経験を広げる貴重な場である。教職員

の負担もあるだろうが、学校だけでなく、外部指導員や地域の方とも連携しながら、こどもたちが楽しく取り組める環境をつくるのが責務であると考えます。部活動については、拠点方式や合同部活、地域移行等、さまざまな形式があり、継続が難しくなっているが、今後の方向性について、市の見解は。

答 部活動の地域移行検討協議会において、生徒の多様な活動

機会の確保と教職員の負担軽減が図られるよう、地域連携や地域移行を含めた持続可能な部活動のあり方と体制整備について、検討していく。

シニア世代のスポーツ推進を

問 働き世代のスポーツ機会の充実として、期間中いつでも参加できるウォーキングイベントを

拡充することである。働き世代だけでなく、シニアも楽しめるようなスポーツイベントの開催や、運動競技場の高齢者割引なども実施すべきと考えるが、市の見解は。

答 シニア世代にも楽しんでいただけるよう工夫を凝らした

ウォーキングイベント事業に引き続き取り組んでいく。スポーツ施設の団体使用時の高齢者料金設定については、現状では考えていないが、他の市の動向等を調査・研究していく。



歴史文化財の積極的な調査・保存を

問 本市にはさまざまな歴史遺産があり、日本書紀に登場する

五十鈴媛を祭った神社もその一つである。同神社は、昨今の台風や地震で甚大な被害を受けたとのことである。貴重な宝物や建築物として価値ある神社仏閣等を、個人や地元住民だけで維持することは困難になりつつあるため、文化財となりそうなものに関しては、市が調査・保存を進めるべきと考えがどうか。

答 本市に残る貴重な文化財は、地域社会において大切に守り

伝えられてきたものであり、今後も幅広い世代の方によって守られていくことが望ましいと考えている。郷土の豊かな歴史・文化の魅力や価値を幅広い世代に向けて発信し続けていくためにも、歴史上、芸術上そして学術上の価値を見極めながら、文化財調査に取り組んでいく。

大阪維新の会



萩原 佳（質問者）

川口 元氣 長谷川 浩

円藤 こずえ 岩本 守

元茨木川緑地リ・デザイン計画の進捗は

問 おにクル完成に合わせて、周辺の元茨木川緑地が整備され

生まれ変わったが、今後、消防本部以南はどのように整備を進めていくのか。歩行者と自転車の分離といった以前からの市民の要望も踏まえ、市の中心にある憩いの場として、5キロにおよぶ緑地を余さず整備すべきと考えるがどうか。

答 これまでの社会実験の結果等を踏まえて、樹木の剪定や処分・更新、トイレ等の老朽化した施設の更新を実施するとともに、必要に応じてその他の整備を検討していく。また、消防本部以南の歩行者と自転車の分離についても検討を進めていく。



元茨木川緑地（東中条町）

北部地域の魅力づくりを

問 茨木千堤寺インターチェンジから安威川ダム周辺にかけては、市北部の玄関口として大きな発

展を遂げているが、北部地域は旧石河村、旧清溪村、旧見山村の3つの旧村域からなるものである。ダム

よく使われる議会用語

定例会	条例で定める回数だけ必ず開かなければならない会議のことをいいます。茨木市議会の場合は、年4回、原則3・6・9・12月に開かれることになっています。
臨時会	定例会以外に必要な場合、その事件についてのみ審議するため招集される会議のことをいいます。
議案	議会の議決を求めるために、市長または議員もしくは委員会が、議会に提出する案件のことをいいます。
質疑	議案などについて、不明確な点や詳しく知りたい点を市長などに問いただすことをいいます。
表決	議案などについて、各議員が賛否の意思を明らかにすることをいいます。この結果、賛否のどちらかに議会の意思が決まることを議決といます。

答 本市北部地域には、歴史や独自の文化を感じられる素晴らしい資源が多くある。つり橋エリアオープンを控え、今後さらに注目が集まるダムパークいばきたの集客力を生かして、これらの地域資源にも注目していただけるよう、情報発信やエリアマネジメント組織の活動支援等を通じて、市内外へ働きかけていく。

将来の渋滞解消に向け隣市との協力を

問 現在、箕面市において進められている川合・山之口土地区画整理事業では、大型商業施設の誘致も検討されており、隣接する本市の彩都・豊川地区の交通事情にも大きな影響を及ぼすと予想される。本市としても積極的に開発に関与し、交通渋滞対策に取り組みべきと考えるが、市の考えは。

答 積極的に同開発へ関与し、交通渋滞の周辺地域への影響が軽減される計画となるよう、箕面市や府に働きかけていく。

小学校給食の無償化は

問 中学校給食の無償化については高く評価するが、一方で、小学校給食の無償化を先送りした理由は何か。子育てしやすいまちを目指すならば、小学生の保護者の負担を軽減することも大切な施策であると考えるが、市は対応策を考えているのか。

答 中学生の時期は、義務教育の中でも特に保護者の経済的負担が増えることから、中学校給食費を無償化したものであり、現在のところ、小学校給食については無償化の考えはない。学校給食にかかる負担軽減は、少子化対策にも資する総合的な取組みであるため、国の施策として実施するよう国に要望している。

ふるさと納税の新たな取組みについて

問 ふるさと納税について、制度の善し悪しはともかく、本市から市税の流出が拡大している現状がある以上、さらなる取組みが必要ではないか。例えば、返礼品にpay pay商品券を導入することで、市内業者に

直接プラスの影響が見込まれる。また、ダムパークいばきたの施設利用料に使えるふるさと納税自販機を導入することで、シティプロモーションにも寄与すると思われるがどうか。

答 pay pay商品券については、店舗内で対象商品の混在防止の管理等に課題がある。また、ふるさと納税自販機については、維持管理コスト面等で課題があり、導入にあたっては費用対効果等を注視する必要がある。体験型返礼品の充実などを通じて、まちの魅力をPRし、本市に愛着を持っていたただけるよう寄附金をまちづくりに生かしていく。



第4回定例会 一般会計補正予算質疑



上記二次元コードから
録画配信をご覧いた
できます。

令和6年度一般会計補正予算に対する質疑を行いました。
主な質疑内容は次のとおりですが、誌面の都合上、質疑の一部しか掲
載できません。詳しい内容は、市議会ホームページ等で公開予定の会議
録をご覧ください。(8月下旬予定)

防災キャビネットの設置を



公明党
岡本 竜郎



問 地震時にエレベーター内に閉じ
込められた場合、救出までに時
間を要することも想定されるため、
エレベーター内に水や非常食、簡易
トイレ、消臭スプレーなどを備えた
防災キャビネットの設置が重要だと
考える。本市における設置状況およ
び設置に関しての見解はどうか。

答 本市公共施設のエレベーター
に、防災キャビネットが設置
されているものはない。防災キャビ
ネットの設置は、閉じ込め対策に有
効なものと認識しているが、一方
で、車いす使用者の利用を妨げない
スペースの確保等にも課題がある
ことから、今後、施設の特性や利
用頻度等を踏まえて研究していく。



会派に所属
しない議員
辰見 直子



**病院誘致にかかる財政的支援に
ついて**

問 病院誘致について、事業者候
補者の決定から現在まで1年
8か月が経過するが、その間、本

市の地域医療資源や医療環境に変
化はあったのか。また、事業者候
補者である大阪医科薬科大学から、
建設費等の財政的支援を要望され
ているとのことであるが、通常、
診療所の開設等にあたり、本市か
らの財政的支援はあるのか。

答 国の資料によると、市内には
12か所の診療所が新たに開院
している。また、府に提出された
令和5年度病院プランによると、
茨木みどりヶ丘病院において、令
和7年度に向けて病床数の増床と、
新たに心血管疾患の科目の開設を
検討されている。診療所の開院や
民間病院における診療科の開院に
ついては、自らの経営を考えた上
で判断されることであり、既存の
補助要件に該当する場合を除き、
基本的に財政的支援を行うことや
求められたことはない。



自由民主党・絆
西野 貴治



市スポーツ施設の安全対策は

問 スポーツ活動中は、落雷事故
や熱中症などの危険性があり、
安心してスポーツを楽しむために
は施設の安全対策が重要である。桑
原ふれあい運動広場グラウンドに
は、昨年、避雷針は設置されたもの

の日よけ設備がないが、設置は検
討しているのか。また、その他に
も避雷針や日よけ設備がないなど
安全性に課題がある施設はないか。
そのような施設の改善、対策につ
いて市はどのように考えているか。

答 桑原ふれあい運動広場グラウ
ンドについては、利用者から
の要望があり、日よけシエルター
の設置を検討していく。避雷針に
ついては、設置していないグラウ
ンドもあるが、周辺の状況等を踏ま
え、必要性について研究していく。
日よけ設備については、利用者の
要望により、庭球場に移動式の日
よけシエルターやパラソル等を設
置している。今後も、利用者の意見・
要望を伺いながら、スポーツ環境
の充実に向けて取り組んでいく。



桑原ふれあい運動広場グラウンド

市議会のうごき

4月	5日	議会広報委員会
	9日	幹事長会
	15日	文教常任委員会
	19日	総務常任委員会
		建設常任委員会
	24日	民生常任委員会 議員研修会
5月	7日	幹事長会 議会運営委員会
	8日	議会広報委員会
	9日	本会議
	10日	議員研修会
	13日 ~ 14日	文教常任委員会行政視察 (山口県周南市、宇部市)
	15日 ~ 16日	総務常任委員会行政視察 (埼玉県春日部市、東京都荒川区)
	21日 ~ 22日	民生常任委員会行政視察 (東京都八王子市、中野区) 建設常任委員会行政視察 (神奈川県相模原市、埼玉県川越市)
	3日	幹事長会 議会運営委員会
	7日	本会議 (初日)
	11日	本会議 (2日目)
6月	12日	本会議 (3日目)
	13日	本会議 (4日目)
	14日	本会議 (5日目)
	18日	民生常任委員会 建設常任委員会
	20日	文教常任委員会 総務常任委員会
	21日	文教常任委員会
	26日	幹事長会 議会運営委員会
	28日	本会議 (最終日)

市議会
だより

答

万博で最先端の技術に触れることで、こどもたちの学ば意

学校単位で万博に行く事業について

問

小・中学校、高校、支援学校の児童・生徒を大阪・関西万博に招待する事業について、府が学校単位での参加の意向調査を行っているが、会場の安全性や安全な移動手段の確保、保護者の費用負担等、多くの課題があると考え



会派に所属しない議員
山本 由子



問

本市山間部には清溪小学校と忍頂寺小学校があり、それぞれ彩都西中学校と北陵中学校へと進学する。全校児童20人前後

少人数校からの進学について



大阪維新の会
円藤 ことえ



欲を高め、自分の将来の夢や目標を考えるキャリア教育の充実にもつながると考えている。安全面の確保については、現時点では情報

答

小規模校から大規模校への進学は、児童にとつて大きな変化であると捉えている。進学前からの関係づくりのため、小学校

問

内容、予算措置をしている。交流の内容は、多人数での授業を経験するための交流授業や、連合運動会

北部地域の観光振興への取り組みを

問

竜王山荘のあり方については、市全体としての研究・検討が必要だ



自由民主党・絆
福丸 孝之



次頁へつづく

前頁つづき

答

竜王山荘については、観光の視点だけでなく、スポーツ施設としてのあり方や北部地域全体において果たすべき役割等も含め整理する必要があるため、北部地域の魅力向上に向けたワーキングチームを中心に庁内連携のもと研究していく。また、ダムパークいばきたへのさまざまな行き方について、ホームページ等を活用し周知するなど、わかりやすい案内に努めていく。



日本共産党
朝田 充



本市の大阪・関西万博への姿勢は

問

大阪・関西万博の児童・生徒無料招待事業について、小・中学校への意向調査は回答の選択肢が限られ、事実上、参加の強要であるとの批判があるが、本市の見解はどうか。同事業に関して、学校に情報を伝達するだけではなく、市としておかしいことは指摘すべきと考えるがどうか。また、万博関連の派遣職員の給与は、法的には博覧会協会が支給するべきではないのか。

答

調査については、府から参加は強制ではないと示されており、キャンセル可能であることも確認の上、各校に周知している。現在は、校外学習として安全に行けるかの判断材料が不足している状況である。今後予定されている府の説明を受け、疑問点を確認するなど、校長の判断に必要となる情報の収集、提供に引き続き努めていく。また、派遣職員の給与は、業務内容が公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律第6条第2項に規定される業務に該当するため、本市から適切に給与等を支給している。



公明党
河本 光宏



中核市移行検討の今後の見通しは

問

中核市への移行について、移行における課題について調査・研究し、論点整理を進めているとのことである。議会にも情報共有し、市民も理解が深まるよう取り組んでもらいたい。取組み内容および結果がまとめられた際の進め方について示されたい。

答

府や近隣中核市へのヒアリング、庁内勉強会等により、市

民サービス向上や財政的影響の視点から、移譲事務の内容や必要人員について調査・研究を行っている。検討結果については、今秋までには取りまとめ、議会へ報告の上、議論を深めていきたい。



自由民主党・絆
上田 光夫



本市の公民連携（PPP）の独自性は

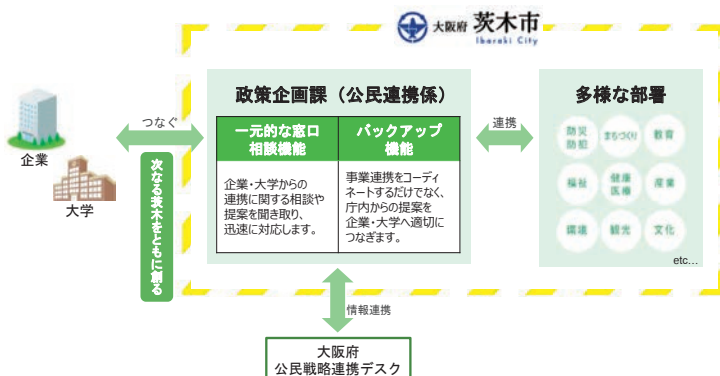
問

公民連携について、本市では令和5年4月に公民連携ガイドライン（民間提案制度実施要領）が作成されており、人口減少、少子高齢化、インフラ更新時期の集中、価値の多様化等、社会環境の変化に対応するためにも、今後も積極的に推進していくべきだと考えて

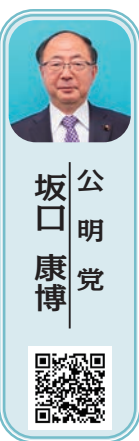
いる。企業側は制度がある自治体に優先して提案しているようだが、北摂地域に本制度がある自治体はあるか。また、本市の独自性は。

答

北摂地域では、池田市が民間提案の窓口を設置している。本市の独自性は大きく2点あり、1点目は、提案受付から審査・事業化までのフローを制度化し、ガイドラインにより見える化していることである。2点目は、無償の地域貢献活動だけではなく民間ノウハウを活用した有償の事業提案も積極的に受け付けていることである。



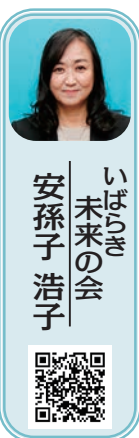
市の公民連携イメージ（市 HP から抜粋）



病院誘致の進捗状況は

問 病院誘致については、令和4年10月の事業者候補者決定後、令和5年8月に物価高騰の影響を考慮し、計画の見直しと、それに基づく大学側からの収支計画書の作成等が記された覚書その2が交わされた。その後、どのような協議がされているのか。収支計画書の提出はあったのか。また、病院誘致を待つ市民へのメッセージは。

答 同覚書に基づき、本市が必要とする医療機能や建設コスト抑制の方策等について、協議・調整を進めているところである。収支計画書の提出には至っておらず、また、物価高騰や診療報酬改定の影響、本市の財政状況を見極めつつ、公的負担について検討する必要がある。今後、相応の時間を要すると考えている。安心・安全な市民生活を支えるための病院として、その必要性を認識しており、課題の克服に向け、協議・調整する中で結論を得ていきたい。



社会福祉協議会との協働を

問 重層的支援体制整備事業における要は、地域づくり事業であると考えている。市社会福祉協議会が取り組んでおられるぷらっとホーム事業（※1）は、地域づくり事業の「世代や属性を超えた交流の場、人がつながり、関係性を深める場」という目的に合致していると考えているが、市の見解は。すでにぷらっとホーム事業を開催されている地域から、重層的支援体制整備事業に位置付け、共に取り組んでほしいか。

答 地域住民の孤立防止やつながりの強化等を趣旨として市社会福祉協議会で取り組んでおられるぷらっとホーム事業は、重層的支援体制整備事業の地域づくり事業の目的に沿うものと認識している。ぷらっとホーム事業を多様な地域づくりの一つとして位置づけることは、地域で支え合う取組みを推進する上での方策になると考えている。



離婚後の共同親権にかかる支援体制は

問 民法改正により、離婚後も子どもの父母双方に親権を認める共同親権が認められることとなった。共同親権の申立ては、すでに離婚が成立している場合にも遡及して適用され、基本的に面会交流が拒否できなくなることから、不安に思われている方もいる。本市では、面会交流についてどのような支援を行っているのか。

答 本市では、ひとり親自立支援員2名を配置し、離婚や生活、子育てなどのほか養育費や面会交流の相談を受けている。また、専

門性が必要なケースについては、ひとり親の問題に精通する弁護士による無料法律相談につなぐほか、府からの委託を受けて大阪府母子寡婦福祉連合会が実施している「大阪府親子交流支援事業」を紹介するなど、相談者の気持ちに寄り添いながら進めることとなる。



学童保育室の待機児童について

問 近年、学童保育室への入所希望の増加により、待機児童が発生していると聞く。学童保育を実施している3校のうち、待機児童が出ている学校数とその人数は。また、待機児童となった子どもはどのように過ごしているのか。

答 一斉受付後に待機児童が発生している校区は3校区、11人となっている。待機児童となっているこどもの過ごし方についての詳細は把握していないが、申込受付時にはファミリーサポートセンターや放課後子ども教室、民間学童保育室の案内を行っている。

（※1）ぷらっとホーム事業：地域福祉活動を展開する地区福祉委員会の拠点で、地域住民が「気軽にぷらっと立ち寄れる場」を創出する市社会福祉協議会が行う事業のこと。

議員研修会を開催しました

全議員を対象とした議員研修会を4月24日（水）、5月10日（金）に以下のとおり開催しました。

4月24日（水）

議会におけるハラスメント防止に関し、「政治分野におけるハラスメント防止研修教材（内閣府男女共同参画局）」等の動画視聴による研修を行いました。

研修動画では、議会の内外で起こりうるさまざまなハラスメントについて、具体的な事例が紹介されました。



5月10日（金）

「ハラスメントのない社会をつくる
～議員及び議員候補者等に係るハラスメント防止対策～」

講師：定野 司 氏（文教大学客員教授）

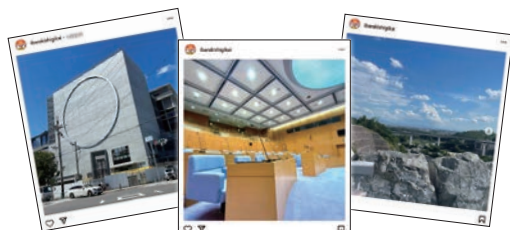
文教大学客員教授である定野 司 先生をお招きし、議員に関わるハラスメントをはじめとして、ハラスメントが起こる背景とその構図、ハラスメントを防止するための対策についてご講義いただきました。



茨木市議会 公式Instagramアカウント

茨木市議会は、Instagramを開設しています。

市議会の活動をより多くの市民の皆さんにお届けしたいと思っています。ぜひ、ご覧ください。



ibarakishigikai

茨木市議会のアカウント

<https://www.instagram.com/ibarakishigikai/>



全国市議会議長会永年表彰・地方行政委員感謝状

令和6年5月22日に開催された「全国市議会議長会第100回定期総会」において、市議会議員として長きにわたり、地方自治の発展と振興に貢献した功績により、3人の議員が表彰を受けました。

また、令和5年度に全国市議会議長会の地方行政委員を務めた下野 巖議員が感謝状を受領しました。



桂 睦子 議員
議員 25 年



岩本 守 議員
議員 20 年



福丸 孝之 議員
議員 15 年



下野 巖 議員
感謝状（地方行政委員）

5月臨時会議決結果

令和6年第3回臨時会を5月9日に開催しました。
この臨時会では、市長から提出された議案等の審議を行いました。

(○：賛成、×：反対)

件名		会派・議員名	大阪維新の会				公明党				自由民主党・絆				日本共産党		いばらき未来の会			所属議員 にない会派				結果					
			萩原佳	川口元気	円藤すえ	岩本守	岡本吉郎	大村卓司	青木順子	松本泰典	河本光宏	坂口康博	福丸孝之	塚理	永田真樹	西野貴治	上田光夫	下野巖	朝田充	大嶺さやか	畑中剛	西本睦子	稲葉通宣		安孫子浩子	山本由子	辰見直子	米川勝利	山下慶喜
議員提出	議会運営委員会の委員定数の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	特別委員会の委員定数の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
専決処分	専決処分につき承認を求めることについて (茨木市市税条例の一部を改正する条例)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
人事案件	茨木市副市長選任につき同意を求めることについて 【秋元 隆二 氏】		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	茨木市固定資産評価員選任につき同意を求めることについて 【秋元 隆二 氏】		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

- ◆議長（大阪維新の会：長谷川 浩議員）は採決に加わりません。
- ◆5月臨時会の議案内容については、市役所南館 1 階情報ルームに設置している資料をご覧ください。
なお、5月臨時会市長提出案件の概要については、市議会ホームページでご覧いただけます。

選挙管理委員会委員・補充員が決まりました

6月7日の本会議において、茨木市選挙管理委員会の委員および補充員の選挙を行い、下記のとおり決定しました。

選挙管理委員	大機 和正 氏	角野 一雄 氏	山本 隆俊 氏	中村 信彦 氏
補 充 員	澤田 徳次 氏	追田 昌彦 氏	田村 英明 氏	大平 正雄 氏

令和6年度補正予算を可決

令和6年度補正予算を可決しました。各会計別予算額は以下のとおりです。
なお、採決状況については、15 ページの6月定例会議決結果をご参照ください。

- 一般会計補正予算（第1号）
1,365,225 千円を追加し、108,765,225 千円
- 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
10,196 千円を追加し、26,122,065 千円

6 月定例会議決結果

(○：賛成、×：反対)

会派・議員名 件 名		大阪維新の会				公 明 党				自 由 民 主 党・絆					日本共産党			いばらき未来の会			会 派 に 所 属 し な い 議 員					結 果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		萩原佳	川口元気	円藤しずえ	岩本守	岡本杏郎	大村卓司	青木順子	松本泰典	河本光宏	坂口康博	福丸孝之	塚理	永田真樹	西野貴治	上田光夫	下野巖	朝田充	大嶺さやか	畑中剛	西本睦子	稲葉通宣	安孫子浩子	山本由子	辰見直子		米川勝利	山下慶喜	桂睦子																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
人事案件	人権擁護委員推薦につき意見を求めることについて 【西浦 章雄 氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6 月定例会議決結果

(○：賛成、×：反対)

会派・議員名 件名		大阪維新の会				公明党				自由民主党・絆					日本共産党			いはらき未来の会			会派に所属しない議員					結果			
		萩原佳	川口元気	円藤いづえ	岩本守	岡本吉郎	大村卓司	青木順子	松本泰典	河本光宏	坂口康博	福丸孝之	塚理	永田真樹	西野貴治	上田光夫	下野巖	朝田充	大嶺さやか	畑中剛	西本睦子	稲葉通宣	安孫子浩子	山本由子	辰見直子		米川勝利	山下慶喜	桂睦子
その他	都市公園を設置すべき区域の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
	工事請負契約締結について (認定こども園西幼稚園エレベーター棟新設ほか工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	財産（土地）の処分について (彩都あかね6番・7番)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	動産（救急自動車）取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度補正予算	令和6年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第1号） 〔組み替え動議〕	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	否決	
	令和6年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第1号） 〔原案〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	可決	
	令和6年度大阪府茨木市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出	茨木市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	否決	
	茨木市夏期の冷房器具の使用に伴う電気料金の補助に関する条例の制定について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	否決	

◆議長(大阪維新の会：長谷川 浩議員)は採決に加わりません。

◆6月定例会の議案内容については、市役所南館1階情報ルームに設置している資料をご覧ください。
なお、6月定例会市長提出案件の概要については、市議会ホームページでご覧いただけます。

可決された意見書

6月定例会で可決された意見書を関係機関に送付しました。

- ◎災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書
- ◎聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書

請願

6月定例会に提出された請願は文教常任委員会の審査を経て、6月28日の最終本会議で採決の結果、次のとおり決定しました。

◆請願第1号 大阪府の児童生徒への関西万国博覧会への招待事業に関することについて

.....【不採択】